

『キリストの身だけに』

～あなたはどんな風に成長していますか？～

エペソ 14:1～16

あなたはどんな風になりたいですか？私たちには色々な理想があります。「～のようにになりたい」私達の理想はこの世にある、あらゆる被造物に置き換えて表現されます。神様は全ての被造物から、神の姿を見出せるようにしました。私達も神の被造物ですから私達の姿を見て神の姿を見出せる程に成長すれば良いのです。私達が神様の光をもっと見出す事ができればその光によって私達も光り輝く事ができます。理想の自分になる為には足りない所を成長させていく必要があります。「からだは一つ、御霊は一つ、バプテスマは一つ」（エペソ 4:4.5）私達は違う種類の間人ではなく同じ神から作られ同じように生きています。一つである神は全ての人を愛しています。ですから神の目が届かない辛い道を歩むことを好みません。だから教会があるのです。しかし、私達一人一人に神は量りに従って恵みを与えておられます。（エペソ 4:7）私達を通して周りの人が受け取るべきものがあり、あなたにしか成し遂げる事ができない使命があるからです。あなたの足りない所を成長させる事は、あなたに与えられている使命を行う為に必要なのです。では、どのように足りない所を知り、成長させていけば良いのか。私達の成長を妨げているものは自己中心です。心の中心に自己中心がくると自分で自分がわからなくなります。不安になったり揺らいだりします。自己中心は自分を悩ませます。しかし、イエス様は人間の為に十字架に架かれる為にお生まれになり、その人生を全うされました。そこには自己中心はありません。自己中心がないイエス様の姿から学ぶべきです。自己中心にならない最大のポイントは「愛」です。わかっているつもりでわかっていないのが「愛」です。「愛」とは自分にとって都合良い愛とは違います。「愛」とは自分の為ではなく、あなたの為に生きたイエス様の姿です。ですから、私達はイエス様の身だけにまで成長する為に自分のどこが自己中心になっているのか考えて欲しいのです。キリストの身だけに成長する為に①**茨に注意**。茨に落ちた種は芽を出すことは出来ますが光を見失ってくと枯れてしまいます。こういう人はちょっと目の前が見えなくなるとやめてしまう弱さがあります。明日のことがきちんと見えていますか？茨の中にいませんか？二度とキリストを十字架にかけないためにも今ある自分のしがらみを取りましょう。②**ぶどうの木にとどまる**。私達は成長してくると、自分の力でできると思うようになってしまいます。「主はぶどうの木、私は枝です」豊かに実を結ぶために私達は主のぶどうの木にとどまっていけないといけません。たとえそこにいたとしても切れていたのでは実のなる時期になってもその枝だけ実がなりません。今よい実を結ぶ状態になっていますか？いつも枝にしっかりととどまっています。③**光に向く**。たとえ、いばらの中に生きていても光に向いてさえいれば成長できます。いばらより成長すれば問題ありません。いつも世の中の上手でいて下さい。何かをする時、神の御手の中にいるか、自分の感情だけで決断していないかもう一度見つめ直して下さい。自分では先もわからない、どうする事もできないのに自分でできるなんて思わないで下さい。私達の為に神はいつも目を離さず見て下さっています。ここでの「見る」とは「守る」という意味です。そのような愛である神から私達も目を離さずにいましょう。日々イエス様と自分との違いを見つけ、自己中心な所を改めイエス様に近づいて行きましょう。自分には何が足りないのか、どうすれば良いのか神に向き合いしっかりと聞いて下さい。あなたは今何に目を向けていますか。目に見えるマイナスばかりに目が向いていませんか。私達が向くべき所、光にきちんと目が向いていれば、私達の必要は全て満たされます。（Ⅱコリント 4:16～18）もう一度、イエス様はどのような方なのかしっかりと見つめていきましょう。